

ウメの香りに包まれて里山ハイク 大高取山～桂木観音

実施日 2023年3月5日(日)
 天候 曇り/晴れ
 リーダー 渋谷京子
 参加者 若村勝昭、涌井良明、山崎富美恵、石附智江、渋谷京子、遠井謙策、徳山敬子、瀧澤きよの、宮崎敏男、津田和子 計10名
 費用 1,466円(池袋起算)
 タイム 越生駅(9:40~10:30)梅林(10:40)休(11:15~11:20)大高取山(11:45~12:10)桂木観音(12:40~13:00)虚空蔵尊(13:45~14:00)越生駅(14:40)

見頃を迎えた越生梅林！水戸偕楽園、熱海梅園と共に関東三大梅林の一つだそう。

越生駅近ると車窓から紅白の梅林が眼に飛び込んできてワクワク感いっぱい。駅正面の舗装路を右手に進む。車の通りが激しいので一列歩行で梅林



を目指す。

梅林は見頃を迎えているように見える。我々は一旦入口に並んだが前に来た事が有るメン

バーが云うにはあちこちに梅林が見られる！と云う事で登山口へ向かう。

舗装路を進み大高取山への標識に従い民家を抜けいきなり山道へ分け入る。

結構な細道で下りて来る登山者も多くお互い譲り合い急さかを登って行く。背中に汗が滲み小休止を挟み樹林帯をゆっくり登って行くと空が明るくなり山頂である。



一面だけ開けており眼下に市街地が見渡せる。時間も手頃、昼食タイムとした。

暫くすると寒風が吹き抜けとても長居出来ない。桂木方面から登山者が押し寄せて来る。しかも殆どが若いハイカーで驚いた。写真を撮るにあたりある方にカメラを渡し撮って頂いた



が満足していないようで数回シャッターを押して、おじさん曰く「こんなもんか！」一同大笑～初めて聞いたワード！ホッコリした時間でした。

さて桂木方面を目指しゆっくり下って行くと桂木観音が現れた。青空が広がり気持ち良い空間で空気も暖かい。先ほどの山頂の寒さとは打って変わり日当たりが良い。

石段を下りた広場でフルーツの差し入れを頂きながら奥武蔵の山並みを眺めた。

ゆずの里の舗装路を少し下ると虚空蔵尊への標識へ導かれ、ゆうパーク



おごせの道を分け下って行くと虚空蔵尊に辿りついた。薄紅の桜が迎えている。

石段を見上げ一瞬躊躇したが最後の力を振り絞り、上がると社が鎮座していた。

休憩後、里の梅林を愛でながら香しい香りに包まれて駅を目指し歩いていく。

確かに有料の梅林に入らなくても越生町全体が梅で成り立っている感じがする。

道標に従いそぞろ歩きを楽しみながら越生駅に到着した。

参加された皆さん！天気にも恵まれ里山の登山道の厳しさにも触れ、また梅の香りに包まれて満喫した一日でした。そして何より多くのメンバーと触れあえた事が最高です。有り難うございました。又、楽しい山行に行きましょう！！

(記・渋谷 京子)

(写真提供・涌井良明/宮崎敏夫)